

## はしがき

国立研究開発法人水産研究・教育機構の水産資源研究所（旧中央水産研究所）図書資料館が所蔵する古文書は、昭和 24～29（1949～1954）年度に水産庁が日本常民文化研究所に委託して行った「漁業制度資料調査保存事業」によって収集されたものです。通称「漁業制度資料」と呼ばれているこれらの古文書資料は、近世から近現代に至る漁業制度や漁村の生活並びに漁業の実態を伝える貴重な文献です。この貴重な記録遺産を漁業史研究などの社会的利用に供するため、神奈川大学日本常民文化研究所と協力して平成 7（1995）年度から整理をはじめ、平成 13（2001）年度から順次目録を刊行してこれまでに 13 冊を発行しました。また、これらの目録は当研究所のホームページでも公開しています。

この冊子は平成 30（2018）～令和元（2019）年度に行った「漁業制度資料」整理業務のうち、和歌山県有田郡湯浅町の松宮太郎兵衛家文書等の和歌山県関係史料について作成した目録です。既に平成 18 年 3 月に刊行した「中央水産研究所所蔵古文書（漁業制度資料）の概要－全 100 資料群の概要と収集・整理の経過」と併せてご覧いただければ幸いです。この目録を案内役として、多くの方々に「漁業制度資料」を有効にご活用いただくことを期待します。

令和 2 年 12 月 1 日

国立研究開発法人 水産研究・教育機構  
水産資源研究所長 田中健吾